

令和 7 年度
全国学力・学習状況調査

解説資料

児童生徒一人一人の学力・学習状況に応じた
学習指導の改善・充実に向けて

小学校 国語



令和 7 年 4 月
国立教育政策研究所
教育課程研究センター

目 次

令和7年度 全国学力・学習状況調査 解説資料について	1
I 小学校国語科の調査問題作成に当たって	4
II 調査問題一覧表	7
III 調査問題の解説（出題の趣旨、解説、解答類型等）	9
1 バスの運転士にインタビューをする	10
2 伝統工芸品について推薦するちらしを書く	18
3 複数の資料を読み、分かったことや考えたことをまとめる（言葉の変化）	28
IV 解答用紙（ 正答（例））	39
V 点字問題（抜粋）	42
VI 拡大文字問題（抜粋）	48

令和7年度 全国学力・学習状況調査 解説資料について

◆ 目的

本資料は、令和7年度全国学力・学習状況調査の実施後、各教育委員会や学校が速やかに児童生徒の学力や学習の状況、課題等を把握するとともに、それらを踏まえて調査対象学年及び他の学年の児童生徒への学習指導の改善・充実等に取り組む際に役立てることができるように作成したものです。

◆ 特徴

「教科に関する調査」の各問題について、学習指導の改善・充実を図るための情報を盛り込んでいます。

「教科に関する調査」の各問題について、出題の趣旨、学習指導要領における内容、解答類型、正答や予想される解答の解説、学習指導の改善・充実を図るための情報等を記述しています。

全ての先生が、学習指導の改善・充実に活用できるものを目指して作成しています。

本調査は、小学校においては第5学年まで、中学校においては第2学年までに、十分に身に付け、活用できるようにしておくべきと考えられる内容を出題していますので、調査の対象学年だけではなく、全学年を通じた学習指導の改善・充実を図るための参考とすることができます。各問題の「学習指導要領における内容」には、該当する学年を示していますので、学校全体で組織的・継続的な取組を展開する際に活用できます。

調査実施後、すぐに活用できるように作成しています。

調査結果が出る前の段階から、調査問題を日々の学習指導の改善・充実を図る際に役立てることができるように作成しています。

※調査結果を公表する際、調査結果から見られた課題の有無や誤答の分析、学習指導の改善・充実を図る際のポイント等を示した「報告書」を作成します。

一人一人のつまずきが見えるように「解答類型」を設けています。

本調査では、児童生徒一人一人の具体的な解答状況を把握することができるように、設定する条件等に即して解答を分類、整理した「解答類型」を設けています。

「解答類型について」で、つまずきの分析ができるように解答類型の説明をしています。正誤だけではなく、一人一人の解答の状況（どこでつまずいているのか）等に注目して、学習指導の改善・充実を図ることができます。

関連する過去の資料も活用できるように作成しています。

関連する過去の調査の解説資料や報告書等の該当ページも記載しています。

学習指導の改善・充実を図る際は、これらの資料も併せて活用すると一層効果的です。

※過去の解説資料・報告書等は、国立教育政策研究所のウェブサイトで見ることができます。

(<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>)

◆ 本資料の活用にあたって

I 調査問題作成にあたって

調査問題作成の基本理念、調査問題作成の枠組みについて解説しています。

II 調査問題一覧表

問題の概要、出題の趣旨、関係する学習指導要領の内容、評価の観点、問題形式を一覧表にまとめています。

Ⅲ 調査問題の解説

調査問題について、出題の趣旨、解説（学習指導要領における内容、解答類型）等を記述しています。（問題によっては、記述のない項目もあります。）

調査問題を縮小して掲載しています。
※著作権の都合により一部を省略しているものもあります。

※図はイメージです。

1. 出題の趣旨

問題ごとに出題の意図、把握しようとする力、場面設定などについて記述しています。

2. 解説

趣旨

問題ごとの出題の意図、把握しようとする力などを示しています。

■学習指導要領における内容

調査対象学年及び他の学年の児童生徒への学習指導の改善・充実を図る際に参考となるように、関係する学習指導要領における内容を示しています。

■評価の観点

問題に関係する評価の観点を示しています。

解答類型（下欄の＊を参照）

児童生徒一人一人の解答状況を把握することができるように、問題における解答類型を示しています。

教科名□ □

問 題 画 像

1. 出題の趣旨

.....
.....
.....

2. 解説

設問○

趣旨

.....
.....

■学習指導要領における内容

〔第○学年〕

.....

■評価の観点

.....

解答類型

問題番号	解 答 類 型	正 答
□ ○	1.	◎
	2.	
	3.	
	4.	
99	上記以外の解答	
0	無解答	

* 児童生徒一人一人の解答状況を把握するために

＜解答類型＞ 児童生徒一人一人の具体的な解答状況を把握することができるように、設定する条件等に即して解答を分類、整理したものです。解答例を示すとともに、「解答類型について」の解説を加えていますので、児童生徒一人一人の解答の状況（どこでつまづいているのか）等に着目した学習指導の改善・充実を図る際に活用することができます。

＜正 答＞ 「◎」…解答として求める条件を全て満たしている正答
「○」…問題の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答

＜類型番号＞ 類型 1～38（最大）… 正答・予想される解答
（複数の類型が正答となる問題もある）
類型 99 … 「上記以外の解答」
（類型 1～38 までは含まれない解答）
類型 0 … 「無解答」（解答の記入のないもの）

※図はイメージです。

■解答類型について

○【解答類型1】は、.....。

○【解答類型2】は、.....。

○【解答類型3】は、.....。

○【解答類型4】は、.....。

(参考)

○同一の問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H□A□□		・・%	pp□-□	pp□-□
H□A□□		・・%	pp□-□	pp□-□

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H□B□□		・・%	pp□-□	pp□-□
R□□□		・・%	pp□-□	pp□-□

3. 出典等

.....

■解答類型について

予想される解答から、身に付いている力や考えられるつまずき等を記述しています。

(参考)

過去の関連する問題、解説資料、報告書等を記載しています。

※平成 24 年度から令和 2 年度の調査問題は、学習指導要領（平成 20 年告示）の目標及び内容に基づき作成されています。

3. 出典等

著作物からの出題の場合に、出典及び著作権者等について示しています。また、問題作成に当たって参考としたものについても示しています。

IV 解答用紙（正答（例））

調査問題の解答用紙に正答（例）を記述したものを掲載しています。

V 点字問題（抜粋）

点字問題の一部を、当該問題の解答類型及び作成に当たって配慮した点などとともに掲載しています。

VI 拡大文字問題（抜粋）

拡大文字問題の一部を、当該問題の通常問題及び作成に当たって配慮した点などとともに掲載しています。

※本資料では、以下の資料については略称を用いています。

資料			略称
「平成○年度 全国学力・学習状況調査	解説資料	○学校 ○○」	「平成○年度【○学校】解説資料」
「平成○年度 全国学力・学習状況調査	報告書	○学校 ○○」	「平成○年度【○学校】報告書」
「令和○年度 全国学力・学習状況調査	解説資料	○学校 ○○」	「令和○年度【○学校】解説資料」
「令和○年度 全国学力・学習状況調査	報告書	○学校 ○○」	「令和○年度【○学校】報告書」

I 小学校国語科の調査問題作成に当たって

小学校国語科の調査問題作成に当たって

1 調査問題作成の基本理念について

「全国的な学力調査の今後の改善方策について（まとめ）」（平成29年3月）では、「全国学力・学習状況調査の調査問題については、新しい学習指導要領が求める育成を目指す資質・能力を踏まえ、それを教育委員会や学校に対して、具体的なメッセージとして示すものとなるよう検討を進める。」としている。

平成29年3月に公示された小学校学習指導要領（平成29年告示。以下「学習指導要領」という。）は、教科等の目標や内容について、生きて働く「知識及び技能」、未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」という三つの柱に基づいて再整理されており、これらの資質・能力の三つの柱は相互に関係し合いながら育成されるものという考え方に立っている。

平成31年度（令和元年度）以降の調査問題では、こうした学習指導要領の考え方への各教育委員会や各学校の理解を促すため、それまでの「主として『知識』に関する問題」と「主として『活用』に関する問題」に区分するといった整理を見直して、一体的に調査問題を構成することとした。

なお、「全国的な学力調査の具体的な実施方法等について（報告）」（平成18年4月）では、具体的な調査問題の作成に当たって、「調査問題自体が学校の教員や児童生徒に対して土台となる基盤的な事項を具体的に示すものであり、教員による指導改善や、児童生徒の学習改善・学習意欲の向上などに役立つとの視点が重要である」としていることにも留意する必要がある。

以上の点等を踏まえ、本調査の調査問題は、国際的な学力調査の考え方や調査結果及び課題等も考慮しつつ、学習指導要領に示された国語科の目標及び内容等に基づいて作成することを基本とした。

2 調査問題作成の枠組み

（１）学習指導要領の内容と評価の観点について

学習指導要領に示されている以下の内容に基づいて、その全体を視野に入れながら、中心的に取り上げるものを精選した。なお、小学校第5学年までの内容となるようにしている。

〔知識及び技能〕

- (1)言葉の特徴や使い方に関する事項
- (2)情報の扱い方に関する事項
- (3)我が国の言語文化に関する事項

〔思考力、判断力、表現力等〕

- A話すこと・聞くこと
- B書くこと
- C読むこと

※ 「A話すこと・聞くこと」については、児童が実際に話したり聞いたりするような調査を行うことが難しいため、場面設定・状況設定などを工夫して、話す・聞く活動にできるだけ近づけた出題となるようにした。

また、評価の観点として、「知識・技能」、「思考・判断・表現」に関わるものを出題した。

（２）問題形式について

問題の形式は、選択式、短答式、記述式の3種類としている。記述式の問題では、複数の考え方、答え方があるものなどについて出題している。

◆ 点字問題、拡大文字問題、ルビ振り問題の作成について

本調査では、視覚障害等のある児童生徒及び日本語指導が必要な児童生徒等に配慮した調査問題（点字問題、拡大文字問題、ルビ振り問題）を作成している。

点字問題では、全体を点訳するとともに、点字による図版等の認知に伴う負担等を考慮し、図版等の情報の精査（グラフを表にしたり、記述による説明に替えたりするなど）を行ったり、出題の趣旨を踏まえた上で、出題形式の変更や代替問題の作成を行ったりするなどの配慮を行っている。

拡大文字問題では、対象となる児童生徒の見え方やそれに伴う負担等を考慮し、文字や図版等を拡大するとともに、文字のフォントや図版等の線の太さ・濃さ、コントラスト、レイアウト等を変更するなどの配慮を行っている。

Ⅱ 調 査 問 題 一 覧 表

調査問題一覧表【小学校国語】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容						評価の観点			問題形式		
			知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			知識	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択	短答	記述
			(1)	(2)	(3)	A	B	C						
			関言葉のすする事方項に	関情報する扱事方項に	関我がす国の言語文化項に	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと						
1	一	【話し合いの様子】における小森さんの傍線部の発言を説明したものとして適切なものを選択する				5・6ア				○		○		
	二	【話し合いの記録】の書き表し方を説明したものとして適切なものを選択する		5・6イ						○		○		
	三(1)	【インタビューの様子の一部】で小森さんが傍線部アのように発言した目的として適切なものを選択する				5・6エ				○		○		
	三(2)	【インタビューの様子の一部】で小森さんが傍線部イのように発言した理由として適切なものを選択する				5・6エ				○		○		
2	一	【ちらし】の文章の構成の工夫を説明したものとして適切なものを選択する					3・4イ			○		○		
	二	山田さんが手ぬぐいの模様について言葉と図で説明した理由として適切なものを選択する					5・6エ			○		○		
	三	【ちらし】の二重傍線部を、【調べたこと】を基に詳しく書く					5・6ウ			○				○
	四ア	【ちらし】の下線部アを、漢字を使って書き直す（このみ）	5・6エ							○			○	
	四イ	【ちらし】の下線部イを、漢字を使って書き直す（あついで）	5・6エ							○			○	
3	一	【資料1】を読んで思い出した【木村さんの経験】を通して、木村さんが気付いたこととして適切なものを選択する			5・6ウ					○		○		
	二(1)	【木村さんのメモ】の空欄アに入る適切な言葉を【資料2】の中から書き抜く						1・2ア		○			○	
	二(2)	【資料3】を読み、【木村さんのメモ】の空欄イに当てはまる内容として適切なものを選択する						5・6ア		○		○		
	三(1)	【話し合いの様子】の田中さんの発言の空欄Aに当てはまる内容として適切なものを選択する						5・6ウ		○		○		
	三(2)	【資料1】を読み返して言葉の変化について自分が納得したことを、【資料2】、【資料3】、【資料4】に書かれていることを理由にしてまとめて書く						5・6ウ		○				○

Ⅲ 調 査 問 題 の 解 説

(出題の趣旨、解説、解答類型等)

国語 1 バスの運転士にインタビューをする

1 小森さんの学級では、働くことについて考えるために、自分の興味のある仕事をしている人にインタビューをすることになりました。バスの運転士に興味のある小森さんたちは、インタビューで質問することを話し合っています。次の【話し合いの様子】と【話し合いの記録】をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの様子】

小森さん 質問することを整理するために、話し合ったことを記録するね。私は、運転士さんがどんなことを大切にしているかを知りたいな。きっと、乗客の安全を大切にしていると思うな。

清川さん ぼくがよく乗るバスはいつも時間どおりに来るよ。時間を守ることも大切にしていると思うな。

町田さん 安全を考えながら時間を守ることは、大変そうだな。

小森さん 確かに、大変そうだね。「仕事で大切にしていること」で話してくれたことをきっかけにして、「仕事で大変なこと」を聞くことができるかもしれないよ。

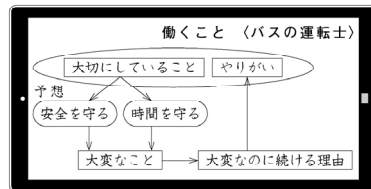
清川さん バスの運転士は、楽そうだなと思っていたけど、大変なこともあるんだね。大変なことがあっても仕事を続けている理由も聞きたいな。

町田さん きっと仕事にやりがいがあるからだよ。

清川さん ぼくもそう思うな。大切にしていることとやりがいについては、働くことについて考えるためにぜひ聞きたいね。

小森さん うん、そうしよう。ここまでの話し合いの記録をこんなふうにまとめたよ。この進め方でもいいかな。

【話し合いの記録】



一 【話し合いの様子】の小森さんは、インタビューをどのように進めようと考えて、部の発言をしましたか。最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 複数の質問のちがいを明確にして聞くことで、聞きたいことを相手から引き出そうとしている。
- 複数の質問のちがいを明確にして聞くことで、相手が答えやすい内容を選ぶようにしている。
- 複数の質問を関連づけて聞くことで、相手が答えやすい内容を選ぶようにしている。
- 複数の質問を関連づけて聞くことで、聞きたいことを相手から引き出そうとしている。

二 【話し合いの記録】の書き表し方を説明したものと最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 質問する内容を丸で囲み、質問しない内容に線を引いて区別している。
- 質問する内容を四角で囲み、線でつなぐことでインタビューの流れを整理している。
- 質問する内容を短い言葉で書き、線でつなぐことで質問を一つにしばっている。
- 質問する内容をできるだけ詳しく書き、多くの質問ができるようにしている。

三 小森さんたちは、バスの運転士の岡さんにインタビューをすることにしました。次の「インタビューの様子の一部」をよく読んで、あとの(1)と(2)の問いに答えましょう。

「インタビューの様子の一部」

小森さん 私たちは、働くことについて考えるために、興味のある仕事について調べています。今日は、岡さんの仕事についてうかがいます。どうぞよろしくお願いします。

岡さん どうぞよろしく願います。

小森さん はじめに、バスの運転士として岡さんが大切にしていることを教えてください。

岡さん バスはたくさんの人を乗せていますから、やはり、安全に目的地まで送り出すことを大切にしています。

小森さん 安全に運転することは大事なことです。安全に運転するために、例えばどのようなことを心がけているのですか。

岡さん 道が混んでいると時刻どおりに運行できないこともあります。あわててしまうと、大きな事故につながりかねないので、落ちついて運転するようにしています。それに、バスの安全を守っているのは運転士だけではないんですよ。

小森さん えっ、そうなんですか。運転士のほかにどんな人がいるのですか。

岡さん 出発する前に、自分でもバスの点検をしますが、整備士も定期点検をしています。そのほかに、私たち運転士の健康状態を確認するなど、安全な運行を管理する人もいます。

小森さん なるほど。たくさんの方が、乗客の安全を支えてくれているんですね。私たちは時間を守ることも大切だと思いましたが、私たちが思っていた以上に安全を第一に考えてくださっていることが分かりました。

清川さん バスの安全な運行のためには、大変なこともあると思いますが、いかがですか。

（インタビューが続く）

(1) 「インタビューの様子の一部」の小森さんが、部のように発言した理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 自分が知りたいことをより具体的に知るため。
- 質問する理由を相手に正しく伝えるため。
- 自分の理解が正しいかどうかを相手に確かめるため。
- 相手が伝えたいことの内容を明確にするため。

(2) 「インタビューの様子の一部」の小森さんが、部のように発言した理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 相手の答えは自分の予想とおりであることが分かったから。
- 自分が聞こうとしていた内容のほかに、新たに聞きたいことが見つかったから。
- 相手の答えと自分の考えを比べて、考えを深めることができたから。
- 自分が共感した内容を取り上げて、話題を広げようと考えたから。

1. 出題の趣旨

目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討し、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら聞き、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、自分の考えをまとめるためには、目的や意図に応じて、必要な材料を集め、分類したり関係付けたりして伝え合う内容を検討することが重要である。

本問では、働くことについて考えるために、興味のある仕事をしている人にインタビューをする場面を設定した。バスの運転士に興味がある小森さんたちは、インタビューで質問することを話し合い、その後、バスの運転士である岡さんにインタビューをしている。ここでは、小森さんの立場を通して、話合いの場面において、自分の目的や意図に応じて、相手から聞きたいことを引き出すために、質問したいことを分類したり関係付けたりして、インタビューの進め方を考えることが求められる。また、話し合った内容を記録する際に、語句と語句を線でつなぐなど書き表し方を工夫することで、内容やインタビューの流れを整理することが求められる。さらに、実際にインタビューをする場面において、自分が聞こうとする意図に応じて、相手から具体的な内容を引き出したり、引き出した相手の考えと自分の考えを比較して共通点や相違点を整理し、考えをまとめたりすることも求められる。

なお、過去の調査結果で見られた課題と関連する設問は、以下のとおりである。

- 設問一は、令和6年度【小学校】国語¹一（正答率62.6%）において、「目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討すること」、令和6年度【小学校】国語¹三（正答率64.0%）において、「目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること」に課題が見られたことを踏まえて出題した。

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第5学年及び第6学年〕 思考力、判断力、表現力等 A 話すこと・聞くこと

イ インタビューなどをして必要な情報を集めたり、それらを発表したりする活動。

2. 解説

設問一

趣旨

目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第5学年及び第6学年〕 思考力、判断力、表現力等 A 話すこと・聞くこと

ア 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。

■評価の観点

思考・判断・表現

解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
①	一	1	1 と解答しているもの	
		2	2 と解答しているもの	
		3	3 と解答しているもの	
		4	4 と解答しているもの	◎
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

- 自分の目的や意図に応じて、相手から聞きたいことを引き出すためには、集めた材料を分類したり関係付けたりして、どのようにインタビューを進めたらよいかを考えることが重要である。小森さんは、「安全を考えながら時間を守ることは、大変そうだよね。」という町田さんの発言を受けて、『仕事で大変なこと』を聞くことができるかもしれないよ。」と話している。ここでは、小森さんが、複数の質問を関連付けて聞くことで、聞きたいことを相手から引き出そうとしていると捉えることが求められる。
- 【解答類型1、2】は、小森さんが、複数の質問の違いを明確にしていると捉えており、複数の質問を関連付けて聞くことで、聞きたいことを相手から引き出そうとしていると捉えることができていないと考えられる。
- 【解答類型3】は、小森さんが、複数の質問を関連付けていると捉えることはできているが、聞きたいことを相手から引き出そうとしていると捉えることができていないと考えられる。
- 【解答類型4】は、小森さんが、複数の質問を関連付けて聞くことで、聞きたいことを相手から引き出そうとしていると捉えることができていないと考えられる。

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
R6 1一	学校の取り組みを紹介する内容を【和田さんのメモ】にどのように整理したのかについて説明したものとして、適切なものを選択する	62.6%	pp.10-16	pp.19-33
R6 1三	オンラインで交流する場面において、【和田さんのメモ】がどのように役に立ったのかを説明したものとして、適切なものを選択する	64.0%	pp.10-16	pp.19-33

設問二

趣旨

情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第5学年及び第6学年〕 知識及び技能

(2) 情報の扱い方に関する事項

イ 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。

■評価の観点

知識・技能

解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
①	二	1	1 と解答しているもの	◎
		2	2 と解答しているもの	
		3	3 と解答しているもの	
		4	4 と解答しているもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

○ 話合いの内容を記録する際には、情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことを通して、考えをより明確なものにしたり、思考をまとめたりすることが重要である。ここでは、小森さんが、質問する内容を四角で囲み、線でつなぐことでインタビューの流れを整理していると捉えることが求められる。

○ 【解答類型1】は、小森さんが、質問する内容を丸で囲み、質問しない内容に線を引いて区別していると捉えており、質問する内容を四角で囲み、線でつなぐことでインタビューの流れを整理していると捉えることができていないと考えられる。

- 【解答類型 2】は、小森さんが、質問する内容を四角で囲み、線でつなぐことでインタビューの流れを整理していると捉えることができていると考えられる。
- 【解答類型 3】は、小森さんが、質問する内容を短い言葉で書き、線でつなぐことで質問を一つに絞っていると捉えており、質問する内容を四角で囲み、線でつなぐことでインタビューの流れを整理していると捉えることができていると考えられる。
- 【解答類型 4】は、小森さんが、質問する内容をできるだけ詳しく書き、多くの質問ができるようにしていると捉えており、質問する内容を四角で囲み、線でつなぐことでインタビューの流れを整理していると捉えることができていると考えられる。

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
R5 ②三	相田さんが【資料 3】の情報をどのように整理しているかについて説明したものとして適切なものを選択する	62.2%	pp.21-30	pp.36-53
R6 ②一 (2)	【高山さんのメモ】の書き表し方を説明したものとして、適切なものを選択する	87.0%	pp.17-24	pp.34-49

設問三(1)

趣旨

自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第 5 学年及び第 6 学年〕 思考力、判断力、表現力等 A 話すこと・聞くこと
エ 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。

■評価の観点

思考・判断・表現

解答類型

問題番号	解 答 類 型	正答
① 三 (1)	1 1 と解答しているもの	◎
	2 2 と解答しているもの	
	3 3 と解答しているもの	
	4 4 と解答しているもの	
	99 上記以外の解答	
	0 無解答	

■解答類型について

- 聞くことにおいては、自分はどのような情報を求めているのか、聞いた内容をどのように生かそうとしているのか、そのためにどういった情報を相手から引き出そうとしているのかなどを明確にして聞くことが重要である。小森さんは、働くことについて考えるために、バスの運転士から「仕事で大切にしていること」を引き出そうとしている。ここでは、バスの運転士の岡さんの「安全に目的地までお送りすることを大切にしています。」という答えに対し、安全に運転するために心がけていることの具体例を引き出そうとしていると捉えることが求められる。
- 【解答類型1】は、小森さんが、自分が知りたいことの具体例を引き出そうとしていると捉えることができていると考えられる。
- 【解答類型2】は、小森さんが、質問する理由を相手に正しく伝えようとしていると捉えており、自分が知りたいことの具体例を引き出そうとしていると捉えることができていないと考えられる。
- 【解答類型3】は、小森さんが、自分の理解が正しいかどうかを相手に確かめようとしていると捉えており、自分が知りたいことの具体例を引き出そうとしていると捉えることができていないと考えられる。
- 【解答類型4】は、小森さんが、相手が伝えたいことの中心を明確にしようとしていると捉えており、自分が知りたいことの具体例を引き出そうとしていると捉えることができていないと考えられる。

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
R2[1]三	インスタント食品のよさについての【発表の様子】の[]に、取材を通して分かったことを取り上げて書く	実施せず	pp.12-17	実施せず
R5[3]二	寺田さんと山本さんが、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことをまとめて書く	70.4%	pp.31-40	pp.54-70

設問三(2)

趣旨

話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第5学年及び第6学年〕 思考力、判断力、表現力等 A 話すこと・聞くこと

エ 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。

■評価の観点

思考・判断・表現

解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
①	三 (2)	1	1 と解答しているもの	
		2	2 と解答しているもの	
		3	3 と解答しているもの	◎
		4	4 と解答しているもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

- 聞くことにおいては、話し手の考えと自分の考えとを比較して共通点や相違点を整理したり、共感した内容や納得した事例を取り上げたりして、自分の考えをまとめることが重要である。ここでは、「整備士も定期点検をしています。」、「運転士の健康状態を確認するなど、安全な運行を管理する人もいますよ。」と答えたバスの運転士の岡さんに対し、小森さんが、「たくさんの方が、乗客の安全を支えてくださっているんですね。」、「私たちが思っていた以上に安全を第一に考えてくださっていることが分かりました。」と自分の考えを深めていると捉えることが求められる。
- 【解答類型1】は、小森さんが、相手の答えは自分の予想どおりであると考えていると捉えており、相手の答えと自分の考えを比べて、考えを深めていると捉えることができていないと考えられる。
- 【解答類型2】は、小森さんが、自分が聞こうとしていた内容のほかに、新たに聞きたいことを見付けていると捉えており、相手の答えと自分の考えを比べて、考えを深めていると捉えることができていないと考えられる。
- 【解答類型3】は、小森さんが、相手の答えと自分の考えを比べて、考えを深めていると捉えることができていないと考えられる。
- 【解答類型4】は、小森さんが、自分が共感した内容を取り上げて、話題を広げようと考えていると捉えており、相手の答えと自分の考えを比べて、考えを深めていると捉えることができていないと考えられる。

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
R2 1三	インスタント食品のよさについての【発表の様子】の□□□□に、取材を通して分かったことを取り上げて書く	実施せず	pp.12-17	実施せず
R5 3二	寺田さんと山本さんが、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことをまとめて書く	70.4%	pp.31-40	pp.54-70

3. 出典等

スタジオ タック クリエイティブ編『はこぶ仕事のひみつ図鑑』（2020年7月 スタジオタック クリエイティブ）、鎌田和宏監修『名人はっけん！まちたんけん ③くらしをささえるひと』（2019年2月 学研プラス）、株式会社エイジャ編『決定版 夢をそだてるみんなの仕事300』（2018年11月 講談社）、八尾剛己・新堀眞樹子編『職場体験完全ガイド 乗りものの仕事2 ② レーシングドライバー・路線バスの運転士・バスガイド・航海士』（2012年3月 ポプラ社）などを参考にした。

国語 2 伝統工芸品について推薦するちらしを書く

2 山田さんの学級では、伝統工芸品についてすいせんするちらしを書くにじびしました。山田さんは、手ぬぐいのよさについてすいせんする文章を、次の「ちらし」に書いています。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【ちらし】

手ぬぐい

手ぬぐいには、いろいろなよさがあります。
そのよさとは、どのようなものでしょう。

よさ1 もよう

さまざまなもようがあり、すきなもようを選ぶことができます。おくり物としてもびったりです。

季節を感じるもよう

手ぬぐいには、植物や風景をもとにした
ものがあります。季節に合わせて手ぬぐい
を選ぶことができます。

しゅみやすきなものに合わせたもよう

スポーツや音楽などに関係するもようの手ぬぐいもあります。相手のアこのみに合わせて、もようを選び、おくることができます。

よさ2 使い方

手などをふくだけではなく、身に着けたり、物を包んだりすることもできます。

身に着ける使い方

イ あついに、水でぬらして首にまくと、すずしく感じます。
また、外で作業をするときに頭にかぶると、あせをきゅう
しゅうし、両手が空くので仕事がしやすくなります。

物を包む使い方

手ぬぐいは、いろいろな物を包むことができます。

このように、手ぬぐいには、いろいろなよさがあります。
みなさんもぜひ使ってみてください。

- 2 山田さんは、 の中で、手ぬぐいのようにについて言葉と図で説明しています。その理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。
- 1 言葉に関係のない図を示すことで、別のものについての興味を高めるため。
- 2 二つの図を並べて示すことで、もようの移り変わりを明確にするため。
- 3 言葉と図を合わせて示すことで、具体的に内容を理解できるようにするため。
- 4 言葉と図を比べて示すことで、疑問点を明確にするため。

山田さんは、文章の構成をくふうして「**ちらし**」を書いていきます。山田さんが文章の構成をどのようにくふうしているかを説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

1 読んでほしい順序を明確にして、時間の流れに沿って書いている。

2 伝えたいこと、この中心を明確にして、内容のまとまりごとに分けて書いている。

3 文章の筋道が整うように、原因と結果を明らかにして書いている。

4 読み手の目的に応じて読めるように、使い方の手順に沿って書いている。

二 山田さんは、の中で、手ぬぐいのもようにについて言葉と図で説明しています。その理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

言葉に關係のない図を示すことで、別のもようにについての興味を高めるため。

2 二つの図を並べて示すことで、もようの移り変わりを明確にするため。

3 言葉と図を合わせて示すことで、具体的に内容を理解できるようにするため。

4 言葉と図を比べて示すことで、疑問点を明確にするため。

【調べたこと】

三 山田さんは、「ちらし」の書き表し方について友達と相談し、「ちらし」の――部をくわしく書いたほうがよいと考え、次の「調べたこと」を見直しました。あなたが山田さんなら、どのように書き直しますか。あとの条件に合わせて書きましよう。

〈条件〉

○「ちらし」の（部を書き直し、くわしくすること。（一文でなくともよい。））
 ○「調べ」の（本を読んで分かったこと）と（使つてみて分かったこと）のそれぞれから
 言葉や文を取り上げて書くこと。
 ○六十文字以上、百字以内にまとめて書くこと。

物を包む使い方

手ぬぐいは、いろいろな物を包むことができます。



物を包む使い方

物を包む使い方

※上の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。
解答は、解答用紙に書きましょう。
※◆の印から横書きで書きましょう。とちゅうで行を変えないで、
続けて書きましょう。

〈本を読んで分かったこと〉

- ブックカバー
 - ・何回か折るだけで、すぐに完成する。
 - ・本の大きさに合わせて包むことができる。
- ペットボトルカバー
 - ・ペットボトルを包んで持ち運ぶことができる。

〈使ってみて分かったこと〉

- ブックカバー
 - ・よごれがつかのを防ぐことができてよかった。
 - ・落としたときに、本がきずつかなかった。
- ペットボトルカバー
 - ・水てきが荷物につかなくてよかった。
 - ・温かい飲み物が冷めにくかった。



四 山田さんは、「ちらし」を読み返し、習っている漢字がひらがなになっていた——部ア、イを漢字で書いてねいに書きましょう。

相手のアこのみに合わせて、もようを選び、おくることができます。

イあついに、水でぬらして首にまくと、すずしく感じます。

1. 出題の趣旨

目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、図表を用いるなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。

自分の考えが伝わるように書くためには、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、図表やグラフを用いるなどして、書き表し方を工夫することが重要である。その際、書く目的や意図を明確にした上で、詳しく書く必要がある場合や簡単に書いた方が効果的である場合などを判断しながら書き表し方を工夫することが大切である。また、図表やグラフを用いる際には、自分にとっても考えを深めやすく、相手にとってもよく理解できるものとなるよう書き表し方を工夫することも大切である。

本問では、伝統工芸品について推薦するちらしを書く場面を設定した。山田さんは、ちらしに書く内容の中心を手ぬぐいのよさに絞り、内容のまとまりごとに構成を工夫している。また、言葉と図を合わせて示したり、目的や意図に応じて詳しく書いたりしながら、手ぬぐいのよさについて推薦する文章を書いている。ここでは、山田さんの立場を通して、伝えたいことの中心を明確にして、内容のまとまりごとに分けて書いていることを捉えることが求められる。また、言葉だけでなく、図を用いて書き表し方を工夫していることをおさえることが求められる。さらに、自分の考えが伝わるように、目的や意図に応じて詳しく書くことが求められる。相手の読みやすさや意味の通りやすさを考えて漢字を正しく書くことも求められる。

なお、過去の調査結果で見られた課題と関連する設問は、以下のとおりである。

- 設問二は、令和5年度【小学校】国語¹二（正答率26.8%）において、「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること」に課題が見られたことを踏まえて出題した。
- 設問三は、令和6年度【小学校】国語²二（正答率56.7%）において、「目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること」に課題が見られたことを踏まえて出題した。

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第5学年及び第6学年〕 思考力、判断力、表現力等 B 書くこと

ア 事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。

2. 解説

設問一

趣旨

書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第3学年及び第4学年〕 思考力、判断力、表現力等 B 書くこと

イ 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。

■評価の観点

思考・判断・表現

解答類型

問題番号		解 答 類 型			正答	
②	一	1	1 と解答しているもの			◎
		2	2 と解答しているもの			
		3	3 と解答しているもの			
		4	4 と解答しているもの			
		99	上記以外の解答			
		0	無解答			

■解答類型について

- 文章の構成を考えるためには、書く内容の中心を明確にして、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりすることが重要である。ここでは、山田さんが、伝えたいことの中心を明確にして、内容のまとまりごとに分けて書いていると捉えることが求められる。
- 【解答類型1】は、山田さんが、読んでほしい順序を明確にして、時間の流れに沿って書いていると捉えており、伝えたいことの中心を明確にして、内容のまとまりごとに分けて書いていると捉えることができていると考えられる。
- 【解答類型2】は、山田さんが、伝えたいことの中心を明確にして、内容のまとまりごとに分けて書いていると捉えることができていると考えられる。
- 【解答類型3】は、山田さんが、文章の筋道が整うように、原因と結果を明らかにして書いていると捉えており、伝えたいことの中心を明確にして、内容のまとまりごとに分けて書いていると捉えることができていると考えられる。
- 【解答類型4】は、山田さんが、読み手の目的に応じて読めるように、使い方の手順に沿って書いていると捉えており、伝えたいことの中心を明確にして、内容のまとまりごとに分けて書いていると捉えることができていると考えられる。

設問二

趣旨

図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第5学年及び第6学年〕 思考力、判断力、表現力等 B 書くこと

エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

■評価の観点

思考・判断・表現

解答類型

問題番号		解 答 類 型			正答	
②	二	1	1 と解答しているもの			
		2	2 と解答しているもの			
		3	3 と解答しているもの			◎
		4	4 と解答しているもの			
		99	上記以外の解答			
		0	無解答			

■解答類型について

- 自分の考えが伝わるように文章を書くためには、引用したり、図表やグラフを用いたりするなど、書き表し方を工夫することが重要である。ここでは、手ぬぐいの模様について読み手がよく理解できるように、山田さんが、言葉だけでなく、図を用いて書き表し方を工夫していると捉えることが求められる。
- 【解答類型1】は、山田さんが、別の模様についての興味を高めるために、言葉に関係のない図を示していると捉えており、具体的に内容を理解できるようにするために、言葉と図を合わせて示していると捉えることができていないと考えられる。
- 【解答類型2】は、山田さんが、模様の移り変わりを明確にするために、二つの図を並べて示していると捉えており、具体的に内容を理解できるようにするために、言葉と図を合わせて示していると捉えることができていないと考えられる。
- 【解答類型3】は、山田さんが、具体的に内容を理解できるようにするために、言葉と図を合わせて示していると捉えることができていないと考えられる。
- 【解答類型4】は、山田さんが、疑問点を明確にするために、言葉と図を比べて示していると捉えており、具体的に内容を理解できるようにするために、言葉と図を合わせて示していると捉えることができていないと考えられる。

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
R 2 2 三	プラスチックの3 R週間を提案する【下書き②】の「プラスチックの3 R週間チャレンジ表」をどのような目的で書いているのか、適切なものを選択する	実施せず	pp.18-27	実施せず
R 5 1 二	【川村さんの文章】の空欄に学校の米作りの問題点と解決方法を書く	26.8%	pp.10-20	pp.19-35

設問三

趣旨

目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第5学年及び第6学年〕 思考力、判断力、表現力等 B 書くこと

ウ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

■評価の観点

思考・判断・表現

解答類型

問題番号	解答類型	正答
②	三 (正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 【ちらし】の ≡ 部を書き直し、詳しくしている。 ② 【調べたこと】のうち、以下のことから言葉や文を取り上げて書いている。 a 〈本を読んで分かったこと〉 b 〈使ってみて分かったこと〉 ③ 60字以上、100字以内で書いている。	
	(正答例) ・ 何回か折って本を包むと、ブックカバーになり、よごれがつくのを防ぐことができます。また、ペットボトルを包んで持ち運ぶこともでき、水てきが荷物につくのを防ぐことができます。(84字) ・ 手ぬぐいは、何回か折るだけで、ブックカバーとして使うことができます。本の大きさに合わせて包むことができるので便利です。落としても本にきずがつきません。(75字) ・ ペットボトルカバーとしてペットボトルを包んで持ち運ぶことができます。使ってみると、かばんの中の荷物にペットボトルの水てきがつかなくなります。また、温かい飲み物も冷めにくくなるので、とても助かります。(99字)	
	1 条件①、②a、bの両方、③を満たしているもの	◎
	2 条件①、②a、bの両方は満たしているが、条件③は満たしていないもの	
	3 条件①、②aは満たしているが、条件②bは満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。	
	4 条件①、②bは満たしているが、条件②aは満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。	
	5 条件①は満たしているが、条件②a、bは共に満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。	
	99 上記以外の解答	
	0 無解答	

■解答類型について

- 自分の考えが伝わるように文章を書くためには、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、書き表し方を工夫することが重要である。山田さんは、【ちらし】の書き表し方について友達に相談し、「物を包む使い方」を詳しく書いたほうがよいと考えている。ここでは、「手ぬぐいは、いろいろな物を包むことができます。」という文を、【調べたこと】の言葉や文を取り上げて、60字以上、100字以内で書き直して詳しくすることが求められる。
- 【解答類型1】は、【ちらし】の ≡ 部を書き直して詳しくしており、【調べたこと】の〈本を読んで分かったこと〉と〈使ってみて分かったこと〉の両方から言葉や文を取り上げて、60字以上、100字以内で書いている。
- 【解答類型2】は、【ちらし】の ≡ 部を書き直して詳しくしており、【調べたこと】の〈本を読んで分かったこと〉と〈使ってみて分かったこと〉の両方から言葉や文を取り上げて書いている。しかし、60字以上、100字以内で書いていない。
- 【解答類型3】は、【ちらし】の ≡ 部を書き直して詳しくしており、【調べたこと】の〈本を読んで分かったこと〉から言葉や文を取り上げて書いている。しかし、〈使ってみて分かったこと〉から言葉や文を取り上げて書いていない。具体的な例としては、以下のようものが考えられる。

(例)

- ・ ブックカバーは、何回か折るだけで、すぐに完成し、本の大きさに合わせて包むことができます。ペットボトルカバーは、ペットボトルを包んで持ち運ぶことができます。(77字)

- 【解答類型4】は、【ちらし】の ≡ 部を書き直して詳しくしており、【調べたこと】の〈使ってみて分かったこと〉から言葉や文を取り上げて書いている。しかし、〈本を読んで分かったこと〉から言葉や文を取り上げて書いていない。具体的な例としては、以下のようものが考えられる。

(例)

- ・ ブックカバーは、よごれやきずを防ぐことができます。ペットボトルカバーは、水てきが荷物につかず、温かい飲み物を冷めにくくすることができます。(69字)

- 【解答類型5】は、【ちらし】の ≡ 部を書き直して詳しくしている。しかし、【調べたこと】の〈本を読んで分かったこと〉と〈使ってみて分かったこと〉から言葉や文を取り上げて書いていない。具体的な例としては、以下のようものが考えられる。

(例)

- ・ 手ぬぐいは、自分のしゅみやすきなものに合わせたもようを選ぶことができます。また、コップなどのわれやすいものを包んだり、お弁当などを包んだりすることができます。(79字)

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
R3[3]二	丸山さんの【文章の下書き】の ----- 部を【西田さんの話】を用いて詳しく書き直す	56.7%	pp.30-40	pp.42-53
R6[2]二	【高山さんの文章】の空欄に入る内容を、【高山さんの取材メモ】を基にして書く	56.7%	pp.17-24	pp.34-49

設問四

趣旨

学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第5学年及び第6学年〕 知識及び技能

(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項

エ 第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。

■評価の観点

知識・技能

解答類型

問題番号	解 答 類 型			正答
[2]	四 ア	1	「好 (み)」と解答しているもの	◎
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	
	四 イ	1	「暑 (い)」と解答しているもの	◎
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

ア 【解答類型1】は、「この (み)」を文の中で正しく書くことができている。

イ 【解答類型1】は、「あつ (い)」を文の中で正しく書くことができている。

3. 出典等

加藤敦子『手ぬぐい使いこなしブック』(2018年6月 主婦の友社)、河出書房新社編集部編『かまわぬの手ぬぐい使い方手帖 最新版』(2014年5月 河出書房新社)、佐々木ルリ子『暮らしの手ぬぐい暦』(2008年5月 河出書房新社)、てぬクリ実行委員会『手ぬぐいを知る、作る、使う 手ぬぐいクリエイター』(2015年2月 東京和晒)などを参考にした。

国語 3 複数の資料を読み、分かったことや考えたことをまとめる（言葉の変化）

3

木村さんの学級では、言葉の変化について学ぶために、みんなで「資料1」を読みました。そして、「資料1」を読んで一人一人が疑問や興味をもったことについて調べ、分かったことをもとに考えをまとめることにしました。「資料1」をよく読んであとの問いに答えましょう。

【資料1】

（文化庁国語課「文化庁国語課の動向いしやす日本語」による。）

（文化庁国語課「文化庁国語課の動向いしやす日本語」による。）

※1「規範」……判断したり行動したりするときの手本。

※2「短絡」……よく考えもせずに、ものごとを簡単に結びつけてしまうこと。

※3「文化庁」……文化や芸術を広める仕事や、文化財を守る仕事などをする、国の機関。

一 木村さんは、「資料1」を読み、次の「木村さんの経験」を思い出しました。木村さんが経験を通して気づいたこととして最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【木村さんの経験】

ひいおばあちゃんが「かわやはどこ。」と聞いたことがあったなあ。
ぼくが「かわやって何」とたずねたら、お父さんは「便所のことだよ」と教えてくれたなあ。ぼくはトイレって言うんだだけだな。



木村さん

- 1 時代とともに言葉の意味が変わること。
- 2 時代とともにものの使い方が変わる。
- 3 世代によってものの呼び方がちがうこと。
- 4 世代によって言葉の使い方は変わらないこと。

二

木村さんは、「資料1」を読み、言葉は年月とともにどのような変化をするのか調べたいと思いました。そこで、次の「資料2」と「資料3」を読み、分かったことをあとの「木村さんのメモ」に整理しています。これらをよく読んで、あとの(1)と(2)の問いに答えましょう。

【資料2】

（飯間浩明「日本語をつかまえろ」による。）

【資料3】

（飯間浩明「日本語をつかまえろ」による。）

【木村さんのメモ】

言葉の変化について分かったこと

「あたらしい」は新しい形

（奈良時代）
あたらし ↓ （平安時代）
ア ↓ あたらしい （今）

時代とともに言葉の形が変わる。

いひもきるゝひまに？

（室町時代）
どうせ ↓ どうしても、どうい ↓ 非常に （今）

イ

(1) 【木村さんのメモ】の「ア」の中に入る適切な言葉を「資料2」の中から書きぬきましょう。

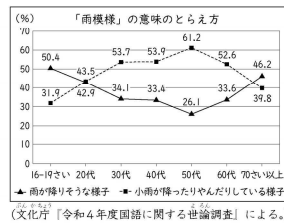
(2) 【木村さんのメモ】の「イ」に当てはまる内容として最も適切なものを、「資料3」を読み、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 時代とともに言葉の意味が変わる。
- 2 時代とともにものの使い方が変わる。
- 3 世代によってものの呼び方がちがう。
- 4 世代によって言葉の使い方は変わらない。

【話し合いの様子】

「**【資料1】**」に「言葉の正誤（せいつ）を軽々しく決めることはできない」と書かれていることになっているよ。

【資料4】



私は、この「資料（資料4）」を見つけたよ。
これを見ると、世代によって、「雨模様」の意味の
どらえ方にちがひがあることが分かるでしょ。

本当だ。三十代から六十代は本来の意味とは
ちがう。小雨が降ったりやんだりしている様子」と
どらえている人の割合が高いね。

こんなふうには、人によって言葉の意味のどらえ方
がちがうと、伝え合うときに困ると思うよ。だから

「資料1」に「A」と書かれているとおりだと思うよ。

こんなふうに、人によって言葉の意味のとりえ方がちがうと、伝え合うときに困ると思うよ。だから、**【資料1】**に「**A**」と書かれているとおりだと思うよ。

本当だ。三十代から六十代は本来の意味とはちがう。小雨が降^こったりやんだりしている様子」とどらえている人の割合が高いね。

私は、この資料（資料4）を見つけたよ。これを見ると、世代によって、「雨模様」の意味のとりえ方にちがいがあることが分かりますよ。

言葉の変化については、いろいろな考え方があるんだね
もう一度【資料1】を読み返して、言葉の変化について
したことをまとめよう。



木村さん

(1) 【話し合いの様子】の **A** に当てはまる内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1
【資料1】の
部①

2
【資料1】
の
部②

3
【資料1】
の
部③

4 【資料1】の部④

(2) 木村さんは【資料1】を読み返して言葉の変化について自分が一番なっとくしたことを【資料2】、【資料3】、【資料4】に書かれています。理由をそれぞれ2つずつ書きなさい。

あなたが木村さんなら、どのようにまとめますか。次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 言葉の変化についてなっとくしたことを「資料1」から言葉や文を取り上げて書くこと。
○なっとくした理由を「資料2」、「資料3」、「資料4」の中から選び、言葉や文を取り上げて書くこと。

※次の枠は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。

[illegible]

1. 出題の趣旨

文章全体の構成を捉えて要旨を把握し、目的に応じて、文章と図表を結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる。

文章全体の構成を捉えて要旨を把握し、目的に応じて、文章の中から必要な情報を見付けるためには、読む目的を明確にすることが大切である。また、文章の中から必要な情報を取捨選択したり、整理したり、再構成したりすることも重要である。その際、文章中に用いられている図表などが、文章のどの部分と結び付くのかを明らかにすることや、複数の資料を結び付けながら読むことが求められる。このようにして、文章の内容や構造を捉え、精査・解釈しながら考えたり理解したりすることは、自分の考えを形成することにもつながっていく。

本問では、言葉の変化について学ぶために、みんなで共通の資料を読み、一人一人が疑問や興味をもったことについて調べ、分かったことや考えたことをまとめる場面を設定した。木村さんは、言葉が年月とともにどのような変化をするのか調べたいと思い、複数の資料を読んだり、友達と話し合ったりしながら、自分が納得したことについてまとめている。ここでは、木村さんの立場を通して、文章全体の構成を捉えて要旨を把握するとともに、目的に応じて、必要な情報を取捨選択したり、整理したり、再構成したりし、分かったことなどをまとめることが求められる。また、【木村さんの経験】を基に、世代による言葉の違いに気付くことも求められる。

なお、過去の調査結果で見られた課題と関連する設問は、以下のとおりである。

- 設問三(1)及び設問三(2)は、令和5年度【小学校】国語[2]二（正答率67.6%）において、「目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けること」に課題が見られたことを踏まえて出題した。

また、本調査で初めて取り上げる内容に関する設問は、以下のとおりである。

- 設問一では、第5学年及び第6学年の〔知識及び技能〕の(3)我が国の言語文化に関する事項の「言葉の由来や変化」に関する指導事項を取り上げている。この指導事項を本調査で取り上げることは初めてである。

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第5学年及び第6学年〕 思考力、判断力、表現力等 C 読むこと

ア 説明や解説などの文章を比較するなどして読み、分かったことや考えたことを、話し合ったり文章にまとめたりする活動。

2. 解説

設問一

趣旨

時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第5学年及び第6学年〕 知識及び技能

(3) 我が国の言語文化に関する事項

ウ 語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。

■評価の観点

知識・技能

解答類型

問題番号		解 答 類 型			正答	
③	一	1	1 と解答しているもの			
		2	2 と解答しているもの			
		3	3 と解答しているもの			◎
		4	4 と解答しているもの			
		99	上記以外の解答			
		0	無解答			

■解答類型について

- 時代の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くためには、自分たちが普段使っている言葉とは異なる言葉があることや、それぞれの世代には特有の言葉遣いがあることに気付き、自分たちの言葉への関心を深めることが重要である。ここでは、木村さんが、経験を通して、世代によってものの呼び方が違うことに気付いたと捉えることが求められる。
- 【解答類型1】は、木村さんが、時代とともに言葉の意味が変わることに気付いたと捉えており、世代によってものの呼び方が違うことに気付いたと捉えることができていないと考えられる。
- 【解答類型2】は、木村さんが、時代とともにものの使い方が変わることに関心をもつことに気付いたと捉えており、世代によってものの呼び方が違うことに気付いたと捉えることができていないと考えられる。
- 【解答類型3】は、木村さんが、世代によってものの呼び方が違うことに気付いたと捉えることができていないと考えられる。

- 【解答類型 4】は、木村さんが、世代によって言葉の使い方は変わらないことに気付いたと捉えており、世代によってものの呼び方が違うことに気付いたと捉えることができていないと考えられる。

設問二(1)

趣旨

時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

- 〔第 1 学年及び第 2 学年〕 思考力、判断力、表現力等 C 読むこと
ア 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。

■評価の観点

思考・判断・表現

解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
3	二 (1)	1	「あたらし」と解答しているもの	◎
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

- 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えるためには、どのような順序によって説明されているかを考えながら文章の構造を大づかみに捉え、それを手掛かりに内容を正確に理解することが重要である。ここでは、【資料 2】を読み、「あたらしい」という言葉の形が時代とともにどのように変化したのかを捉えることが求められる。
- 【解答類型 1】は、【資料 2】を読み、「あたらしい」という言葉の形が「あたらし」（奈良時代）、「あたらし」（平安時代）、「あたらしい」（今）と、時代とともに変化していることを捉えることができていないと考えられる。

設問二(2)

趣旨

事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第5学年及び第6学年〕 思考力、判断力、表現力等 C 読むこと

ア 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。

■評価の観点

思考・判断・表現

解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
3	二 (2)	1	1 と解答しているもの	◎
		2	2 と解答しているもの	
		3	3 と解答しているもの	
		4	4 と解答しているもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

- 文章全体の構成を捉えて要旨を把握するためには、叙述を基に、書き手が、どのような事実を理由や事例として挙げているのかなどに着目することが重要である。ここでは、【資料3】を読み、「とても」という言葉の変化について、叙述を基に「時代とともに言葉の意味が変わる」ということを捉えることが求められる。
- 【解答類型1】は、【資料3】を読み、「とても」という言葉の変化について、「時代とともに言葉の意味が変わる」ということを捉えることができていると考えられる。
- 【解答類型2】は、【資料3】を読み、「とても」という言葉の変化について、「時代とともにものの使い方が変わる」と捉えており、「時代とともに言葉の意味が変わる」ということを捉えることができていないと考えられる。
- 【解答類型3】は、【資料3】を読み、「とても」という言葉の変化について、「世代によってものの呼び方がちがう」と捉えており、「時代とともに言葉の意味が変わる」ということを捉えることができていないと考えられる。
- 【解答類型4】は、【資料3】を読み、「とても」という言葉の変化について、「世代によって言葉の使い方は変わらない」と捉えており、「時代とともに言葉の意味が変わる」ということを捉えることができていないと考えられる。

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
R3②一	面ファスナーに関する【資料】の文章が、何について、どのように書かれているかの説明として適切なものを選択する	77.7%	pp.18-28	pp.30-40

設問三(1)

趣旨

目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第5学年及び第6学年〕 思考力、判断力、表現力等 C 読むこと

ウ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。

■評価の観点

思考・判断・表現

解答類型

問題番号	解 答 類 型				正答
③	三 (1)	1	1 と解答しているもの		
		2	2 と解答しているもの		
		3	3 と解答しているもの		◎
		4	4 と解答しているもの		
		99	上記以外の解答		
		0	無解答		

■解答類型について

○ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けるためには、文章の中から必要な情報を取捨選択したり、整理したり、再構成したりすることが重要である。必要な情報は、目的に応じて変わるため、読む目的を明確にすることが大切である。ここでは、田中さんが【資料4】を読み、「人によって言葉の意味のとらえ方がちがうと、伝え合うときに困る」と考えている。田中さんが、【資料4】に書かれていることと【資料1】に「コミュニケーションの食い違いを放置しておくわけにもいきません。」と書かれていることを結び付けていると捉えることが求められる。

○ 【解答類型1】は、田中さんが、【資料4】に書かれていることと【資料1】に「この本を読むとお気づきになると思います」と書かれていることを結び付けていると捉えており、【資料4】に書かれていることと【資料1】に「コミュニケーションの食い違いを放置しておくわけにもいきません。」と書かれていることを結び付けていると捉えることができていないと考えられる。

- 【解答類型2】は、田中さんが、【資料4】に書かれていることと【資料1】に『本来の意味』『本来とは違う使い方』といった言い方にとどめています。」と書かれていることを結び付けていると捉えており、【資料4】に書かれていることと【資料1】に「コミュニケーションの食い違いを放置しておくわけにもいきません。」と書かれていることを結び付けていると捉えることができていると考えられる。
- 【解答類型3】は、田中さんが、【資料4】に書かれていることと【資料1】に「コミュニケーションの食い違いを放置しておくわけにもいきません。」と書かれていることを結び付けていると捉えることができていると考えられる。
- 【解答類型4】は、田中さんが、【資料4】に書かれていることと【資料1】に『言葉は生きている』とも言われます。」と書かれていることを結び付けていると捉えており、【資料4】に書かれていることと【資料1】に「コミュニケーションの食い違いを放置しておくわけにもいきません。」と書かれていることを結び付けていると捉えることができていると考えられる。

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
R3 ² 三	面ファスナーに関する【資料】を読み、メストラルは、何をヒントに、どのような仕組みの面ファスナーを作り出したのかをまとめて書く	34.6%	pp.18-28	pp.30-40
R5 ² 二	【相田さんのメモ】の空欄に当てはまる内容として適切なものを選択する	67.6%	pp.21-30	pp.36-53

設問三(2)

趣旨

目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第5学年及び第6学年〕 思考力、判断力、表現力等 C 読むこと

ウ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。

■評価の観点

思考・判断・表現

解答類型

問題番号	解答類型	正答
③	三 (2) (正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 言葉の変化について納得したことを【資料1】から言葉や文を取り上げて書いている。 ② 納得した理由を【資料2】、【資料3】、【資料4】の中から選び、以下のように言葉や文を取り上げて書いている。 a 【資料2】、【資料3】のいずれかから言葉や文を取り上げて理由を書いている。 b 【資料4】から言葉や文を取り上げて理由を書いている。 c 【資料2】、【資料3】、【資料4】のうち複数の資料から言葉や文を取り上げて理由を書いている。 ~~~~~ (正答例) - 言葉は年月とともに変化するということになっとくしました。なぜなら、「新しい」という言葉が、奈良時代には「あらたし」と言われていたように、時代とともに言葉の形が変わることがあるからです。(解答類型1) - 言葉の正否を軽がるしく決めることはできないということになっとくしました。100年ほど前の作家は「とても安い」「とても寒い」という言い方は新しいと書いていたそうです。時代とともに言葉の意味が変化するのなら、「正しい」「あまり」といった判断はできないはずです。(解答類型1) 「どんな言葉を使ってもいい、というわけではない」という部分を読んで、そのとおりだと思いました。なぜなら、世代によって「雨も様」の意味のとらえ方にちがいがあるからです。コミュニケーションの食いちがいが起こるとこまると思います。(解答類型2) 「言葉は生きている」ということになっとくしました。理由は、言葉は時代によって同じ言葉でも意味や言い方が変わるからです。また、同じ時代であっても、人によって意味のとらえ方がちがうことがあるからです。言葉はつねに変化していることが分かります。(解答類型3)	

1	条件①、②を満たしているもののうち、条件②については、aを書いているもの	◎
2	条件①、②を満たしているもののうち、条件②については、bを書いているもの	◎
3	条件①、②を満たしているもののうち、条件②については、cを書いているもの	◎
4	条件①は満たしているが、条件②は満たしていないもの	
5	条件②は満たしているが、条件①は満たしていないもの	
99	上記以外の解答	
0	無解答	

■解答類型について

- 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けるためには、文章の中から必要な情報を取捨選択したり、整理したり、再構成したりすることが重要である。必要な情報は、目的に応じて変わるため、読む目的を明確にすることが大切である。ここでは、木村さんが【話し合いの様子】を受けて、自分が納得したことをまとめようとしている。言葉の変化について納得したことを【資料1】から言葉や文を取り上げ、納得した理由を【資料2】、【資料3】、【資料4】から言葉や文を取り上げてまとめることが求められる。
- 【解答類型1】は、納得したことを【資料1】から言葉や文を取り上げ、納得した理由を【資料2】、【資料3】のいずれかから言葉や文を取り上げて書いている。
- 【解答類型2】は、納得したことを【資料1】から言葉や文を取り上げ、納得した理由を【資料4】から言葉や文を取り上げて書いている。
- 【解答類型3】は、納得したことを【資料1】から言葉や文を取り上げ、納得した理由を【資料2】、【資料3】、【資料4】のうち複数の資料から言葉や文を取り上げて書いている。
- 【解答類型4】は、納得したことを【資料1】から言葉や文を取り上げて書いている。しかし、納得した理由を【資料2】、【資料3】、【資料4】から言葉や文を取り上げて書いていない。具体的な例としては、以下のようなものが考えられる。

(例)

- ・ 言葉の広がりや深さにも、ふれていただきたいということになっとくしました。これからも言葉を大切にしたいと思います。

- 【解答類型5】は、【資料2】、【資料3】、【資料4】から言葉や文を取り上げて書いている。しかし、納得したことを【資料1】から言葉や文を取り上げて書いていない。具体的な例としては、以下のようなものが考えられる。

(例)

- ・ 現代の人は、言葉を現代の意味で使うのが一番いいということになっとくしました。なぜなら、「とても」という言葉の意味は、時代によって変化しているからです。

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
R3[2]三	面ファスナーに関する【資料】を読み、メストラルは、何をヒントに、どのような仕組みの面ファスナーを作り出したのかをまとめて書く	34.6%	pp.18-28	pp.30-40
R5[2]二	【相田さんのメモ】の空欄に当てはまる内容として適切なものを選択する	67.6%	pp.21-30	pp.36-53

3. 出典等

本問の【資料1】は、文化庁国語課『文化庁国語課の勘違いしやすい日本語』（2015年12月幻冬舎）による。【資料2】、【資料3】は、飯間浩明『日本語をつかまえろ!』（2019年11月毎日新聞出版）による。【資料4】は、文化庁国語課「令和4年度『国語に関する世論調査』の結果の概要」による。問題作成の都合上、一部表記を改めたところがある。

IV 解答用紙（正答（例））

小学校第6学年
国語 解答用紙

1	—	4	=	2	≡	(1)	1	(2)	3
---	---	---	---	---	---	-----	---	-----	---

2	2 = 3			※◆の印から横書きで書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。
1	物を包む使い方			
	◆	何回か折って本を包むと、	ズツクカバ一になり、よこれ	
		がつくのを防ぐことができま	す。また、ペットボトルを包	
		んで持ち運ぶこともでき、水	てきが荷物につくのを防ぐこ	
		とができます。		
				100字
4	ア	好 (み) イ	暑 (い)	

《ここから下には解答を書いてはいけません。》



組	出席番号	性別	答案番号				

— 40 —

※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、「Ⅲ 調査問題の解説」の「解答類型」等に記載していますので、学習指導の改善等に当たってはそちらも御参照ください。

国語

《この日から右には解答を書いてはなりません。》

3

一	3	二	(1)	あたらし	(2)	1	三	(1)	3
三	(2) 例	言葉は年月とともに変化することになった。とくしました。なぜなら、「新しい」という言葉が、奈良時代には「あたらし」と言われていたように、時代とともに言葉の形が変わることがあるからです。							

【質問】※解答時間終了後に回答してください。

(1)		(2)	
-----	--	-----	--

V 点字問題（抜粹）

点字問題は、通常問題と同様の趣旨・内容で作成している。ただし、点字を使用して学習する児童生徒の情報取得の特性や点字による表現方法等を考慮し、児童生徒が調査問題で問われている内容及び解答に必要な情報を的確に把握し、問題の趣旨に沿った解答に臨むことができるように、例えば、次のような配慮を行っている。

(1) 問題文の記述及びレイアウト等について

必要に応じて、文章や図表等の記述を変更したり、提示する順序を入れ替えたり、ページ配置を変更したりするなどの調整を行う。

(2) 図やグラフの提示の仕方について

提示する情報の精選を行った上で、表に置換したり、必要かつ可能なものは点図（点を用いて示した図）で示したりするなど、提示方法の変更・調整を行う。

(3) 出題形式の変更及び代替問題について

児童生徒の学習内容や生活経験等を考慮し、通常問題の内容をそのまま点字化して出題することが適当ではない問題については、出題の趣旨等を踏まえた上で、出題形式の変更や代替問題の作成を行う。

なお、上記のような配慮に伴い、解答種類の調整を行った問題については、p. 47 に問題及び解答類型（点字問題用）を示している。

＜点字問題における具体的な配慮例＞

【通常問題】

1

一 【話し合いの様子】の小森さんは、インタビューをどのように進めようかと考えて、―― 郵の売手をしました。最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

1 複数の質問のちがいを明確にして聞くことで、聞きたいことを相手から引き出そうとしている。

2 複数の質問のちがいを明確にして聞くことで、相手が答えやすい内容を選ぶようになっている。

3 複数の質問を関連づけて聞くことで、相手が答えやすい内容を選ぶようになっている。

4 複数の質問を関連づけて聞くことで、聞きたいことを相手から引き出そうとしている。

二 【話し合いの記録】の書き表し方を説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

1 質問する内容を丸で囲み、質問しない内容に線を引いて区別している。

2 質問する内容を四角で囲み、線でつなぐことでインタビューの流れを整理している。

3 質問する内容を短い言葉で書き、線でつなぐことで質問を一つにしばっている。

4 質問する内容をできるだけ詳しく書き、多くの質問ができるようにしている。

小国 - 2

1 小森さんの学校では、働くことについて考えるために、自分の興味のある仕事をしている人にインタビューすることにしました。バスの運転士に興味のある小森さんたちは、インタビューで質問することを話し合っています。次の【話し合いの様子】と【話し合いの記録】をよく読んで、あとの問いに答えましよう。

【話し合いの様子】

小森さん 質問することを整理するために、話し合ったことを記録するね。私は、運転士さんがどんなことを大切にしているかを聞きたいな。きつと、乗客の安全を大切にしていると思うな。

清川さん ぼくがよく乗るバスはいつも時間どおりに来るよ。時間を守ることも大切にしていると思うな。

町田さん 安全を考えながら時間を守ることは、大変そうだよな。

小森さん 確かに、大変そうだね。【仕事で大切にしていること】を話してくれたことをきっかけにして【仕事で大変なこと】を聞くことができるかもしれないよ。

清川さん バスの運転士は、楽しそうだなと思っていたけど、大変なこともありそうだね。大変なことがあっても仕事を続けている理由も聞きたいな。

町田さん きつと仕事にやりがいがあるからだよ。

清川さん ぼくもそう思うな。大切にしていることややりがいについては、働くことについて考えるためにもぜひ聞きたいね。

小森さん うん、そうしよう。ここまでの話し合いの記録をこんなふうにまとめよう。この進め方がいいかな。

【話し合いの記録】

働くこと 〈バスの運転士〉

大切にしていること やりがい

予想 安全を守る 時間を守る

大変なこと 大変なのに続ける理由

小国 - 1

【点字問題】

1

本問では、主に次のような配慮を行った。

- 通常問題では、小森さんたちは、【話し合いの記録】で、複数の語句を四角で囲んだり、線でつないだりして情報を整理している。しかし、点字で学習する児童は、このような情報の整理の仕方を行わない。そのため、「話し合いの記録」を「 」や（ ）を使用し整理する学習活動の場面に変更した。
- 触読の特性に配慮し、効率よく読むことができるように、問題文において本文中の傍線部の内容を記載する場合は、該当箇所を再掲する工夫を行った。また、点字問題の「話し合いの様子」「インタビューの様子」において、登場人物の名前のマス数を揃えたり、敬称を省略したりした。（3 3.の「話し合いの様子」においても同様の対応を行った。）

<点字問題（墨点字版）>

1.1

森さんの学級では、働くことについて考えるために、自分の興味のある仕事をしている人にインタビューをすることにしました。バスの運転士に興味のある森さんたちは、インタビューで質問することを話し合っています。次の「話し合いの様子」と「話し合いの記録」をよく読んで、4～12ページの問い1.～3.に答えましょう。

1.2

森 質問することを整理するために、話し合ったことを記録するね。私は、運転士さんがどんなことを大切にしているか聞きたいな。きっと、乗客の安全を大切にしていると思うな。

谷 ぼくがよく乗るバスはいつも時間どおりに来るよ。時間を守ることも大切にしていると思うな。

三田 安全を考えながら時間を守ることは、大変そうだね。

森 確かに、大変そうだね。(ア)「仕事で大切にしていること」で話してくれたことをきっかけにして、「仕事で大変なこと」を聞くことができるかもしれないよ。

谷 そうだね。大変なことがあっても仕事を続けている理由も聞きたいな。

三田 きっと仕事にやりがいがあるからだよ。

1.3

森 大切にしていることとやりがいについては、働くことについて考えるためにもぜひ聞きたいね。

森 そうしよう。ここまでの話し合いの記録をこんなふうにまとめたよ。

「話し合いの記録」

働くこと - バスの運転士

「大切にしていること」

(予想) 安全を守る・時間を守る

「大変なこと」「大変なのに続ける理由」「やりがい」

1.4

森さんは、インタビューをどのように進めようと考えて、傍線部(ア)の発言をしましたか。最も適切なものを、あとの(1)～(4)から一つ選んで、その番号を書きましょう。傍線部(ア)の内容は、次のページにぬき出してあります。

<点字問題（活字版）>

点字問題
活字版(墨字)

1

森さんの学級では、働くことについて考えるために、自分の興味のある仕事をしている人にインタビューをすることにしました。バスの運転士に興味のある森さんたちは、インタビューで質問することを話し合っています。次の「話し合いの様子」と「話し合いの記録」をよく読んで、4～12ページの問い1.～3.に答えましょう。

「話し合いの様子」

森 質問することを整理するために、話し合ったことを記録するね。私は、運転士さんがどんなことを大切にしているか聞きたいな。きっと、乗客の安全を大切にしていると思うな。

谷 ぼくがよく乗るバスはいつも時間どおりに来るよ。時間を守ることも大切にしていると思うな。

三田 安全を考えながら時間を守ることは、大変そうだね。

森 確かに、大変そうだね。(ア)「仕事で大切にしていること」で話してくれたことをきっかけにして、「仕事で大変なこと」を聞くことができるかもしれないよ。

谷 そうだね。大変なことがあっても仕事を続けている理由も聞きたいな。

三田 きっと仕事にやりがいがあるからだよ。

谷 大切にしていることとやりがいについては、働くことについて考えるためにもぜひ聞きたいね。

森 そうしよう。ここまでの話し合いの記録をこんなふうにまとめたよ。

「話し合いの記録」

働くこと - バスの運転士

「大切にしていること」

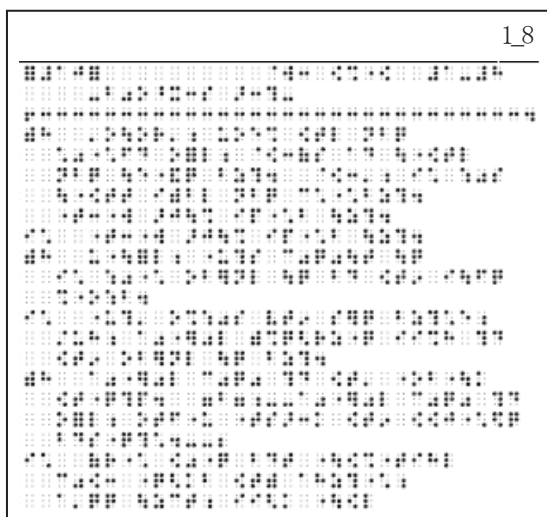
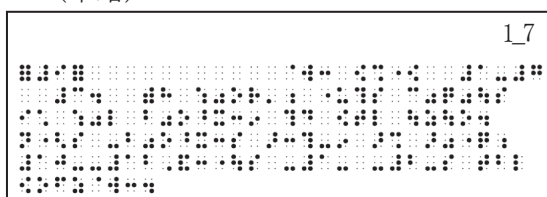
(予想) 安全を守る・時間を守る

「大変なこと」「大変なのに続ける理由」「やりがい」

1. 「話し合いの様子」の森さんは、インタビューをどのように進めようと考えて、傍線部(ア)の発言をしましたか。最も適切なものを、あとの(1)～(4)から一つ選んで、その番号を書きましょう。傍線部(ア)の内容は、次のページにぬき出してあります。



(中略)



√ 1.5

(ア) 「仕事で大切にしていること」で話してくれたことをきっかけにして、「仕事で大変なこと」を聞くことができるかもしれないよ。

2ページ下から7行目

(1) 複数の質問のちがいを明確にして聞くことで、聞きたいことを相手から引き出そうとしている。

(2) 複数の質問のちがいを明確にして聞くことで、相手が答えやすい内容を選ぶようにしている。

(3) 複数の質問を関連づけて聞くことで、相手が答えやすい内容を選ぶようにしている。

(4) 複数の質問を関連づけて聞くことで、聞きたいことを相手から引き出そうとしている。

√ 1.7

3. 森さんたちは、バスの運転士の岡さんにインタビューをすることにしました。次の「インタビューの様子」をよく読んで、10～12ページの「1」「2」の問いに答えましょう。

√ 1.8

「インタビューの様子」

森 私たちは、働くことについて考えるために、興味のある仕事について調べています。今日は、岡さんの仕事と思いについてうかがいます。どうぞよろしくお願いします。

岡 どうぞよろしくお願いします。

森 はじめに、バスの運転士として岡さんが大切にしていることを教えてください。

岡 バスはたくさんの人を乗せていますから、やはり、安全に目的地までお送りすることを大切にしています。

森 安全に運転することは大事なことです。え、安全に運転するために、例えばどのようなことを心がけているのですか。

岡 道が混んでいると時刻どおりに運行できないこともあります。あ

√ 1.9

ててしまうと、大きな事故につながりかねないので、落ちついて運転するようにしています。それに、バスの安全を守っているのは運転士だけではないんですよ。

森 そうなんですか。運転士のほかにどんな人がいるのですか。

岡 出発する前に、自分でもバスの点検をしますが、整備士も定期点検をしています。そのほかに、私たち運転士の健康状態を確認するなど、安全な運行を管理する人もいますよ。

森 (ウ) たくさんの人が、乗客の安全を支えてくださっているんですね。私たちは時間を守ることも大切だと思っていましたが、私たちが思っていた以上に安全を第一に考えてくださっていることが分かりました。

谷 バスの安全な運行のためには、大変なことだと思いますが、いかがですか。(インタビューが続く)

＜点字問題において解答類型の変更、調整等を行った問題＞

【点字問題】 2 4.

√ 2.8	4. 山田さんは、「ちらし」を読み返し、わかち書きがまちがっている傍線部 (ア) (イ) を書き直すことにしました。次の傍線部 (ア) (イ) を正しく 書き直しましょう。
	(ア) 手などをふくだけではなく 3ページ2行目
	(イ) 仕事がしやすくなります 3ページ下から7行目

問題番号		解 答 類 型		正 答
2	4. (ア)	1	手などを ふく だけでは なく と解答しているもの	◎
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	
2	4. (イ)	1	仕事が しやすく なります と解答しているもの	◎
		2	ー (該当無し)	
		3	ー (該当無し)	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

VI 擴大文字問題（拔粹）

拡大文字問題は、通常問題と同様の趣旨・内容で作成している。ただし、弱視児童生徒の見え方に伴う負担等を軽減するため、通常問題で使用しているA4判の用紙をB4判の大きさに拡大するとともに、以下のような配慮を行っている。

- (1) 原則として文字の大きさを22ポイントとし、UDデジタル教科書体とする。
- (2) 十分な字間及び行間等に設定する。
- (3) 必要に応じて、拡大率やレイアウト等を変更する。

＜拡大文字問題における具体的な配慮例＞

【通常問題】

1

【話し合いの様子】

小森さん 質問することを整理するために、話し合ったことを記録するね。私は、運転士さんがどんなことを大切にしているかを聞きたいな。きっと、乗客の安全を大切にしていると思うな。

清川さん ぼくがよく乗るバスはいつも時間どおりに来るよ。時間を守ることも大切にしていると思うな。

町田さん 安全を考えながら時間を守めることは、大変そうだね。

小森さん 確かに、大変そうだね。「仕事で大切にしていること」で話してくれたことをきっかけにして、「仕事で大変なこと」を聞くことができるかもしれないよ。

清川さん バスの運転士は、楽しそうだなと思っていたけど、大変なこともあるそうだね。大変なことがあっても仕事を続けている理由も聞きたいな。

町田さん きっと仕事にやりがいがあるからだよ。

清川さん ぼくもそう思うな。大切にしていることとやりがいのついでに、働くことについて考えるためにもぜひ聞きたいね。

小森さん うん、そうしよう。ここまでの話し合いの記録をこんなふうにまとめよう。この進め方でいいかな。

小森さん 小森さんの学級では、働くことについて考えるために、自分の興味のある仕事をしている人にインタビューすることになりました。バスの運転士に興味のある小森さんたちは、インタビューで質問することを話し合っています。次の【話し合いの様子】と【話し合いの記録】をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの記録】

働くこと 〈バスの運転士〉

```

graph TD
    A[大切にしていること] --> B[安全を守る]
    A --> C[時間を守る]
    B --> D[大変なこと]
    C --> D
    D --> E[大変なのに続ける理由]
  
```

予想

小国 - 1

1では、以下のような配慮を行い、次のページのように変更・調整した。

- 1) それぞれの人物の話した内容を捉えやすくするために、人物のイラストと名前の位置を入れ替え、話す人物が変わるところは行間を空けた。
- 2) 情報の捉えやすさを考慮して、【話し合いの様子】の枠線囲みを取り、文字を拡大した。

【話し合いの様子】



小森さん

質問することを整理するために、

するね。私は、^{わたし}運転士さんがどんなこ

いるかを聞きたいな。きっと、乗客の

思うな。



清川さん

ぼくがよく乗るバスはいつも時間ど

【調べたこと】

〈本を読んで分かったこと〉	〈使ってみて分かったこと〉
○ブックカバー ・何回か折るだけで、すぐに完成する。 ・本の大きさに合わせて包むことができる。	○ブックカバー ・よごれがつくのを防ぐことができてよかった。 ・落としたときに、本がきずつかなかった。
○ペットボトルカバー ・ペットボトルを包んで持ち運ぶことができる。	○ペットボトルカバー ・水てきが荷物につかなくてよかった。 ・温かい飲み物が冷めにくかった。

三 山田さんは、「ちらし」の書き表し方について友達に相談し、「ちらし」の部をくわしく書いたほうがよいと考え、次の「調べたこと」を見直しました。あなたが山田さんなら、どのように書き直しますか。あとの条件に合わせて書きましょう。



小国-7

2三では、以下のような配慮を行い、次のページのように変更・調整した。

- 1) 【調べたこと】について、内容を捉えやすくするために、タブレット端末の枠組みを外した。
- 2) 視線の移動が問題文と同じ縦方向になるように、〈本を読んで分かったこと〉と〈使ってみて分かったこと〉を横置きから、縦置きに変更した。

【調べたこと】

〈本を読んで分かったこと〉

- ブックカバー
 - 何回か折るだけで、すぐに完成する。
 - 本の大きさに合わせて包むことができる。
- ペットボトルカバー
 - ペットボトルを包んで持ち運ぶことができる。

〈使ってみて分かったこと〉

- ブックカバー
 - よごれがつくのを防ぐことができてよかった。
 - 落としたときに、本がきずつかなかった。
- ペットボトルカバー
 - 水てきが荷物につかなくてよかった。
 - 温かい飲み物が冷めにくかった。

小国-29

三 山田さんは、22ページから23ページの【ちらし】の書き表し方について友達に相談し、【ちらし】の部をくわしく書いたほうがよいと考え、次の【調べたこと】を見直しました。あなたが山田さんなら、どのように書き直しますか。30ページの条件に合わせて書きましょう。

※【調べたこと】は横書きです。



小国-28